

八戸圏域キャリアサポートモデルプログラム
＜プログラム②クリティカルケアコース＞

＜八戸圏域キャリアサポートモデルプログラム教育目標＞

1. 患者・家族の意思決定支援ができる看護師の育成
2. 自分の行う看護に根拠をもち、自律して行動できる看護師の育成
3. 患者の退院後の生活をイメージし、生活のアセスメントと個別性に合わせて援助できる看護師の育成
4. 患者が住む地域の状況を理解して生活を支えることのできる看護師の育成
5. 地域のニーズを踏まえて自分のキャリアを組み立てられる看護師の育成
6. 広域地域に貢献できる看護師の育成

	急性期	回復期	慢性期
施設	八戸市立市民病院 救命救急センター(2 年)、一般病棟(1 年)	五戸総合病院	三戸中央病院
期間	3 年	2 年	1 年
ねらい	①急性期の標準的な看護ケアを実践できる ②重症患者の標準的な看護と個別性に合わせた身体的・精神的ケアを自立して提供できる	①患者が望む退院後の生活を具体的に描き、他職種と連携してケアを提供できる ②患者・家族の意思決定支援ができる ③地域における回復期病院の機能・役割を理解する ④多職種と連携し患者の退院・生活社会復帰を患者と共に考え支援できる	①地域で生活する多様な人々を支援することができる ②地域包括的ケアシステムを理解し、後方支援病院の役割を理解する
到達目標	①基礎看護技術を習得しケア実践出来る ②フィジカルアセスメントの基礎知識・技術を習得する ③救急領域特有の疾患や病態に対する看護ができる ④救急医療で使用する機器の医療機器の取り扱い、管理ができる ⑤心肺蘇生の一連の流れを習得する ⑥救急患者の特殊性を理解した精神的援助ができる ⑦救急患者の家族の心理を理解した援助ができる ⑧災害時の看護実践ができる ⑨看護スタッフ・他職種に自らの意見を述べ適切な人間関係を構築できる	①急性期治療後の患者の回復過程を理解する ②回復期の患者の特徴を理解した看護過程が展開できる ③回復期リハビリテーションについて理解しチーム医療の一員として看護ケアを実践出来る ④地域で療養する人々に関わる職種（行政を含む）の役割を理解し患者の生活を考えた支援が出来る ⑤在宅医療に必要な社会資源や生活機能を維持できるような看護ケアについて考え、実践することができる ⑥セルフケアを含めた個別の退院指導ができる ⑦患者と患者家族の希望や生活様式に沿った退院支援を行うことができる ⑧患者がサービスを利用しながら地域で生活することに順応できるように入院中から支援を行うことができる	①地域における看護師の役割を理解することができる ②地域医療の実際を理解する事ができる ③施設の管理・経営・行政の仕組みについて理解することができる ④地域で求められている自らのキャリアプランを描くことが出来る ⑤急性期、回復期を経過してきた患者の看護実践を行うことができる ⑥多様な対象者に必要な看護について理解できる
方法	①配置は本人の希望を優先する ②八戸市立市民病院のキャリアラダーに沿って研修を受講する ③1 年目に受け持ちした患者の看護の経験を振り返ったレポートを作成する ④2 年目に新人看護師にほほえみ SUN として関わる ⑤3 年目に退院支援を実践した看護についてレポートを作成する	①急性期 3 年目でまとめたレポートを基に急性期看護についてプレゼンテーションを行う ②患者を受け持ち、思いやニーズに応じた個別性のある退院支援計画を立案し実践する ③患者が生活する地域の特徴を学ぶ ④生活に根差した看護についてレポートを作成する	②病棟で行った退院支援を振り返る ③対象者別に必要な看護、多職種チームで取り組んだことのレポートを作成する ④キャリアプランを作成する ・認定看護師、専門看護師、看護管理者などとの交流 ・大学院進学についても検討する
評価	①新人看護師技術チェックリスト ②キャリアラダーⅠとⅡの申請・認定 ③人事評価(能力・業績)と面接	①ケースレポートの評価 ②地域連携室看護師や多職種からのフィードバック ③キャリアラダーⅡ意思決定を支える力の再評価 ⑤人事評価(能力・業績)と面接	①ケースレポートの評価 ②キャリアプランの具体性や方向性へのフィードバック(各病院の教育担当者) ③キャリアラダーⅢ申請(八戸市立市民病院) ④人事評価(能力・業績)と面接
備考	本人の希望により八戸市立市民病院での研修を受講することもできる		